



蓮如上人御忌法要

蓮如上人が、吉崎の地に坊舎^{ぼうしゃ}を建立されて、今年で546年が経ちます。

現代社会に生きる私たちが、親鸞聖人^{あきら}によって顕かにされた本願念仏の教えに出遇えるのも、ここ吉崎の地で蓮如上人の計り知れないご苦勞があったからこそと言えましょう。人間存在を深く愛した人、蓮如さんが、今年も吉崎別院であなを待っておられます。

◆ 御忌法要 2017年4月23日(日)初夜～5月2日(火)晨朝まで

◆ 法要時刻

日にち	お勤めの時間			
	晨朝	日中	速夜	初夜
4月23日	—	—	—	※1
4月24日	7:00	10:00	13:30 ※2	19:00
4月25日～5月1日	7:00	10:00	14:00	19:00
5月2日	6:30 ※3	—	—	—

※1 御下向お着き(19:00～19:30頃)後に「お腰延ばしの儀」を行います。その後、初夜が勤まります。

※2 本山よりご連枝をお迎えし、勤行に出仕していただきます。

※3 御上洛お発ちのため、晨朝が30分早くなります。

※ お齋(昼食)をご用意いたします。600円にてお召し上がりいただけます。

※ 期間中の4月29日の日中のお勤めとご法話終了後に「御山法要」が勤まります。

◆ 法要期間中に行われる主な行事

日にち	時間	場所	内容	団体名
27日	13:00	本堂内	フルート演奏	達川なつみ氏
28日	13:00	本堂内	寸劇	福井県合掌座
29日	13:00	本堂内	仏教賛歌	福井教区合唱団 ラ・サーラ
29日	終日	本堂前芝生	バザー	大谷派災害VN福井
29、30日	10:00～16:30	吉崎町内	GOBOU市	GOBOU市実行委員会
30日	13:00	山門前	蓮如音頭	難波別院ご門徒有志

本年より新たに、フルート奏者・達川なつみ氏による演奏と、大阪・難波別院ご門徒有志による蓮如音頭の披露があります。

2017年(平成29年)

真宗大谷派吉崎別院御忌法要布教使一覧

月日(曜日)	布教使名	晨朝	日中	速夜	初夜
		7:00	10:00	14:00	19:00
4月23日(日)	佐竹 圓修 師 小松教区第2組 光玄寺	御影道中御下向 随行教導			1席
24日(月)	林 拓 師 小松教区第2組 誓立寺	1席	2席	※1 2席	1席
25日(火)	滋野井 光 師 小松教区第2組 稱佛寺	1席	2席	2席	1席
26日(水)	芳原 里詩 師 大聖寺教区第1組 妙徳寺	1席	2席	2席	1席
27日(木)	摩垣 淨心 師 福井教区第6組 佛言寺	1席	2席	2席	1席
28日(金)	木津 祐昌 師 福井教区第10組 智敬寺	1席	2席	2席	1席
29日(土・祝)	山本 龍昇 師 大聖寺教区第1組 上宮寺	1席	2席	2席	1席
30日(日)	熊谷 二郎 師 福井教区第1組 妙樂寺	1席	2席	2席	1席
5月1日(月)	志武 勲 師 大聖寺教区第1組 専光寺	1席	2席	2席	1席
2日(火)	相馬 豊 師 金沢教区第4上組 道因寺	※2 1席	御影道中御上洛 随行教導		

※1 4月24日(月) 速夜は13:30～勤行開始

※2 5月2日(火) 晨朝は6:30～勤行開始

1席は約30～40分程度

— お 願 い —

今春より、「吉崎復興」を掲げ、蓮如上人の呼びかけに集う同朋の交わりの場となるよう、吉崎別院境内の総合整備計画を具体化してまいります。

有縁の同朋の皆様には、この「吉崎復興」の趣旨にご賛同いただき、ご懇志をお運び賜りますようお願い申し上げます。

ホームページも是非ご覧ください！

[吉崎別院](#)

[検索](#)

吉崎別院にて「供奉人集会」開催
—今年の蓮如上人御影道中に向けて—

今年で三百四十四回目を迎える蓮如上人御影道中に向けた供奉人（ぐぶにん）の一泊研修「供奉人集会」が、一月二十四・二十五両日にかけて、吉崎別院（福井県あわら市）の東別院会館を会場に開催された。四月の御影道中に先立って、御下向（往路）・御上洛（復路）に参加する供奉人が一堂に会し、お立ち寄り会所の状況や道中での心構えを共有して、一人ひとりの姿勢と使命を主体的に確認することを願い開催するこの会。当日は五辻信行吉崎別院輪番はじめ、御影道中同行し、協力をいただく蓮如上人御影道中協力会会長の谷口敏氏の挨拶の後、全国各地（今年は、東は関東から西は九州）から集まった供奉人の方々へ、輪番より依頼状が手渡された。（御下向七名・御上洛七名）

講義では、昨年に引き続き御上洛随行教導を務める相馬豊氏が、「供奉人の責務は自身が念仏を申すことに尽きる。先達の伝えてきた歴史に思いを致し、蓮如上人のお供をし、歩くことをとおして、自らの生きる方向性を尋ねていきましたよ」と力強く呼びかけた。他には御影道中の記録映像をとおした学びや、御下向・御上洛それぞれの班に分かれた座談・打ち合わせの時間も設けられた。



↑相馬豊随行教導による事前講義

↓道中についての打ち合わせ



真宗大谷派機関誌・『真宗』3月号の「教団の動き」に掲載された記事を、発行元の許可を受けて転載・編集しています。

今年御上洛の幸領（さいりょう）供奉人のまとめ役）を務める清水教示氏（小松教区第二組勝光寺門徒）は、「供奉人や一般参加者など立場はそれぞれだが、皆が心をひとつにして蓮如上人のお供をし、念仏にはじまり念仏に尽きる道中としたい」と決意を語った。御影道中に向け、膝をお供をさせていただく姿勢と責任を確かめあうなかで交流・懇親を深める会となった。

『同朋新聞』6月号で蓮如上人御影道中の特集記事が組まれます。

蓮如上人御影道中・御忌法要のご案内



「御影道中」は、蓮如上人も歩まれたと伝えられる京都と福井県の吉崎別院（吉崎御坊）を結ぶ往路約240km、復路約280kmの道程を、146の会所を回りながら蓮如上人の御影と共に歩む御仏事で、今年で344回目を迎えます。



蓮如上人の教化の御苦勞とその遺徳を偲び、吉崎別院では毎年「御忌法要」が勤まっています。「御影道中」は、御忌法要をお迎えするための大切な仏事で、お立ち寄り会所をお引き受けくださる寺院や門徒宅では、毎年大勢のお出迎えとお見送りの人びととの出会いと交流の場が生まれている。一会所ごとに労いの言葉とご接待を受け、勤行や法話を行いながらの道中となる。

往路・復路それぞれの道中には、教化伝道を担任する「随行教導」を任命。また、御影のお供を行う「供奉人」7人が選定され、その中から「幸領」が選ばれる。今年御上洛の幸領をつとめる清水教示さん（小松教区勝光寺門徒）は「供奉人や一般参加者など立場はそれぞれだが、皆が心をつなげて蓮如上人のお供をし、念仏にはじまり念仏に尽きる道中にしたい」と決意を語った。

有縁の皆様の道中参加と法要参拝を...

■御影道中への一般参加をお待ちしています。全行程の参加はもちろんのこと、一部の参加も可能です。詳細お尋ねやお申込みは、吉崎別院まで。TEL: 0776-75-1904

日程	
御下向	4月17日～23日
御忌法要	4月23日～5月2日
御上洛	5月2日～9日